

フリー
ペーパー
PECCO
VOL.47 2019.5



ポストンの快刀乱麻

～ 装備編 ～

16 追跡!
書架に本が並びまで

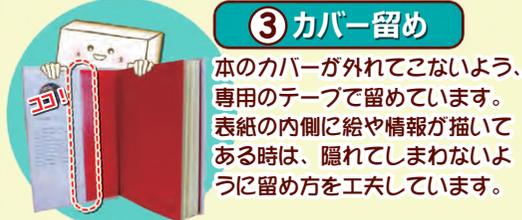
図書館に本や雑誌が並びまでには3つの工程があり、前回まで「収集」と「登録」を見てきました。今回は、最後の工程である「装備」と呼ばれる作業をご紹介します! この作業を終えて、やっと本棚に本が並びます。一体どんな作業内容なのかさっそくポストンと一緒にのぞいてみましょう!

① バーコードラベル



本を管理するためのID番号を印字したラベルです。背表紙を左側にした時に、ラベルが左下に位置するように貼っています。こうすることで、自動貸出機での処理もしやすくなります。また、同じ位置にラベルがあることで、年度末の本の点検作業も効率よく進められます。

③ カバー留め



本のカバーが外れてこないよう、専用のテープで留めています。表紙の内側に絵や情報がある時は、隠れてしまわないように留め方を工夫しています。

⑤ 付録



◆ 裁縫の本に付いてくる「型紙」、旅行の本に付いてくる「地図」など、取り外して使う付録には、バーコードの番号と背ラベルの記号を書いたシールを貼り、本と離ればなれにならないよう、封筒に入れて裏表紙の内側に貼り付けています。

◆ 「正誤表」(※誤植の訂正一覧)は、表紙の内側に貼り付けています。

② 請求記号ラベル(背ラベル)



「請求記号」は、その本が並び場所を示す記号です。背表紙の下から1cmのところ貼っています。プリンタで印字するほか、「テンプレート」を使って手書きすることもあります。また、フロアに出ている本と、書庫にしまっている本では、ラベルの色が違います。

④ 図書館のハンコを押す



岩手県立図書館の蔵書であることを示すハンコです。薄くてハンコを押せない冊子などには、「浮き出し印」を使うこともあります。

おまけの豆知識 ～ フィルムコート ～

子ども向けの本や紙芝居には、プラスチック製のフィルムコーティングをしています。コーティングをすることで、たくさん借りられても傷みにくくなり、汚れの拭き取りも簡単にできます。図書館の本は多くの方が利用しますので、大切に読んでくださいね!

いろんな本のサイズに合わせてカットできるように、フィルムコートはロール型になっているんだよ!

県立図書館スタッフおすすめの本

美術屋の道具箱

長内努 著 / 荒蝦夷 出版

驚くのはその間口の広さ!
なつかしい昭和をふり返りながらも、その足は盛岡からウィーンまで…。のんびり読んでしまうので、旅行鞆に入れて出かけたくくなります。

ウィリアム・モリス

クラシカルで美しいパターンとデザイン
海野弘 解説 / バイインターナショナル 出版

思想家であり芸術家でもあるウィリアム・モリス。その芸術的な装丁を通して、植物本来の美しさに気づかされます。

県立図書館イベント案内

映画会

子ども向け 11:00 ~
毎月第2・4日曜日

5月	6月	7月
12日	9日	14日
26日	23日	28日

一般向け 14:00 ~
毎月第2・4日曜日
(翌月曜日再上映)

5月	6月	7月
12・13日	9・10日	14・15日
26・27日	23・24日	28・29日

おはなし会 14:30 ~

おはなし☆すてーしょん 毎月第1・3日曜日	5月	6月	7月
	5 19	2 16	7 21

手づくりかみしばい 毎月第2土曜日	5月	6月	7月
	11	8	13

ファミリーおはなし会 毎月第4日曜日	5月	6月	7月
	26	23	28

休館日	5月	6月	7月
	25 土曜日	31 金曜日	28 金曜日

企画展

岩手の馬文化



【五戸通木崎野ノ図(南部九牧之図より)】



【シアンモア(サラブレッド種牡馬)】

期間 5/18(土) ~ 7/28(日)
会場 4階展示コーナー

古来より全国有数の馬産地として栄えた岩手において、かつて馬は人々の生活に欠かせない存在でした。本展では人々と馬の歴史をたどるとともに、チャグチャグ馬コやオシラサマなど、馬にまつわる文化を紹介します。

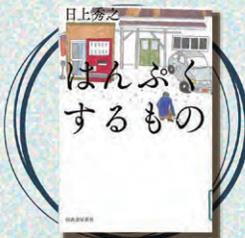
完成!

そして各種の装備作業を終えたのち、ようやく図書館の本棚に本が並びます!



いわて民衆史発掘

八木光則 著 / 東洋書院 出版



はんぷくするもの

日上秀之 著 / 河出書房新社 出版



題名の喩楽

はんざわかんいち 著 / 明治書院 出版

民衆は歴史の表舞台に立たなくとも、それぞれの時代を築き生き抜いてきた。縄文、中世平泉、北の鉄文化、東北の馬、災害、小繋事件を中心とした入会権などをテーマに、岩手の民衆の歴史を掘り起こします。『岩手日報』の連載記事が書籍化されたものです。

30代独身、自営業、資格なし、友達ひとり。岩手県沿岸の地・赤街のタタミ畳の仮設商店を営む、強迫性障害を持つ主人公と、彼をとりまく日常を描いた物語です。第55回文藝賞受賞作。雑誌『文藝』掲載作品を単行本化したものです。

作品のタイトルとテキストとの関係にこだわり、平安時代の歌人・大江千里から、村上春樹、さだまさしなど、幅広く考察されています。宮沢賢治の章「魅題」では童話の題名と文章の関係、改稿に伴うタイトルの変更や命名について語られています。



物語を旅する

夢物語と妖怪物語

佐藤義隆 著 / あさ出版 出版



文豪たちのラブレター

別冊宝島編集部 編 / 宝島社 出版



女わざ

東北にいきづく手わざ覚書

森田圭子 著 / 新泉社 出版

夢も妖怪も人の心が生み出すもの。能「邯鄲」、明恵上人「夢記」などの古典から「ゲゲゲの鬼太郎」や「君の名は。」まで、幅広いテキストを通して物語が伝わるものと、それを生み出す人間の心の世界の不思議に迫ります。宮沢賢治作品からは、「シグナルとシグナレス」をとりあげ、賢治の結ばれなかった恋などについて語られています。

中島敦、太宰治、谷崎潤一郎、夏目漱石、森鷗外など、文豪が綴った甘く切なくどこか愛おしい、恋の手紙。「お菓子なら頭から食べてしまいたいくらい」と甘々に口説く芥川龍之介、「どうぞ写真一枚くださいな」と綴った石川啄木。実際に書いたラブレターを、当時の状況、恋人や関係者との相関図や解説とともに紹介している資料です。

岩手の女性たちに伝わる手わざの伝承の場として誕生した「女わざの会」が、年に1回発行していた手づくりの冊子である『女わざ』を再編集しまとめたものです。約30年間の活動の記録は衣・食・住の多岐に渡ります。そこに彩りを添えている手書きの文字と挿画は、著者の夫である故・森田純氏によるものです。